

平成 31 年度

教育委員会所管
主要な施策の成果に関する報告書
〔 多賀城市まちづくり報告書 〕
〔 第五次多賀城市総合計画進捗状況報告 〕

多賀城市教育委員会

多賀城市まちづくり報告書の構成

IV 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

2 全体の動向(施策別評価)

- (1) 施策別評価の概要
- (2) 成果指標全体のうごき(施策・基本事業別)
- (3) 政策別の成果指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
- (4) 成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
- (5) 政策別の成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)
- (6) 市民の満足度と重要度

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 政策1 | 安全で快適に暮らせるまち <安全・快適分野> |
| 政策2 | 元気で健やかに暮らせるまち <健康福祉分野> |
| 政策3 | 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち <教育文化分野> |
| 政策4 | 環境を大切にする心を育むまち <環境分野> |
| 政策5 | 集い つながり 活気あふれるまち<産業分野> |
| 政策6 | 心がかよう地域の絆を育むまち <地域経営分野> |
| 政策7 | 理解と信頼で進める自律したまち <行政経営分野> |

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

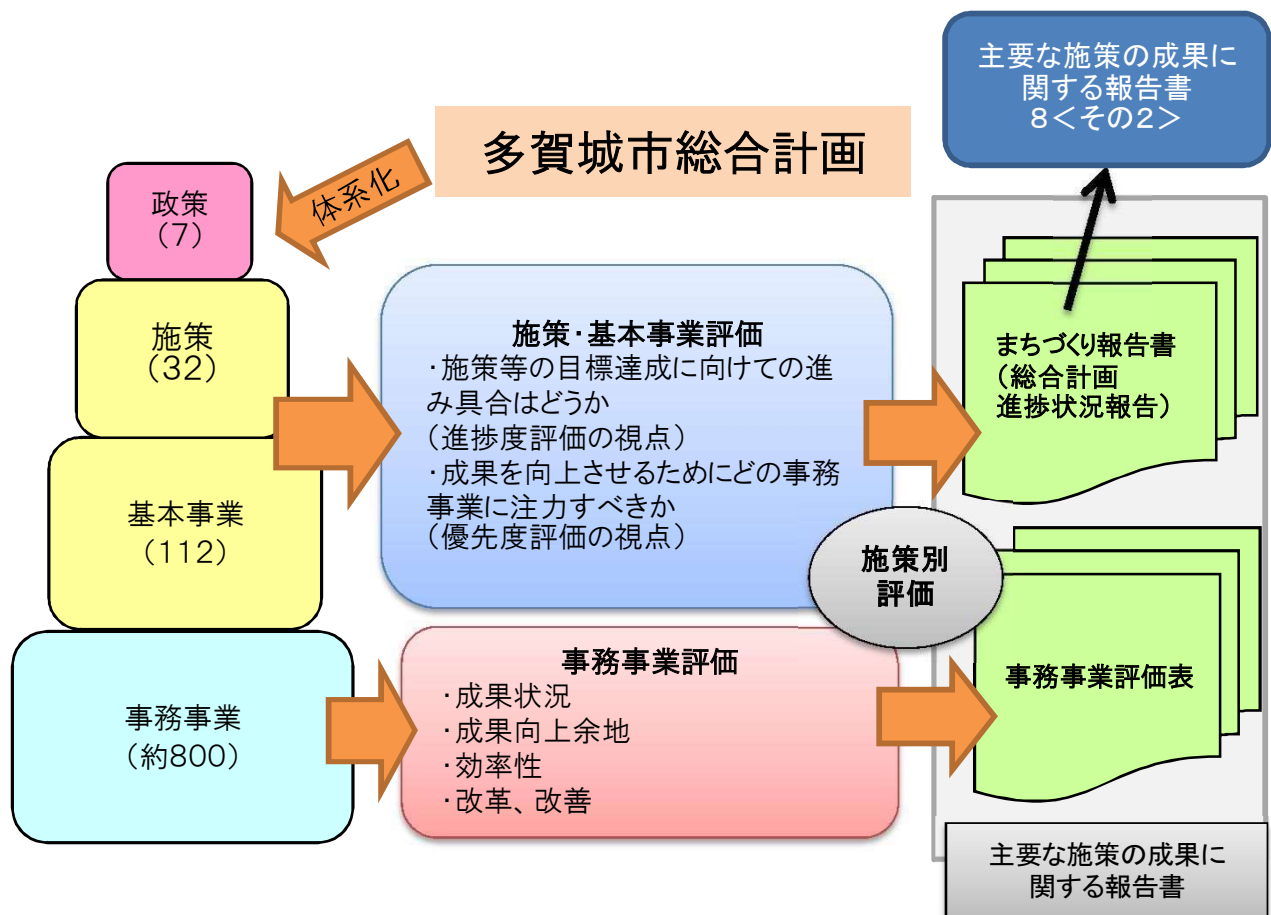
1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、平成31年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 安全で快適に暮らせるまち

施策 01 災害対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、行政区、事業者、行政	防災への取組によって、市民が安心して生活できます。

「対象」は施策や基本事業が働きかける対象(人やモノ)を示しています。

「意図」は施策や基本事業を展開することで「対象」をどのような状態にしたいのか、その目標とする姿を示しています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している成果指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果: 目指す姿の達成度を示すもの

社会: 事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替: 成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート: 毎年定期的に市民3,000人を対象に行うアンケートにより取得する方法

職員アンケート: 毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得: 通常の業務内で取得する方法

課独自調査: この成果指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い: 数値が上がると良い指標

下がると良い: 数値が下がると良い指標

その他: 数値の増減で良し悪しを判断できない指標

【後期基準値】

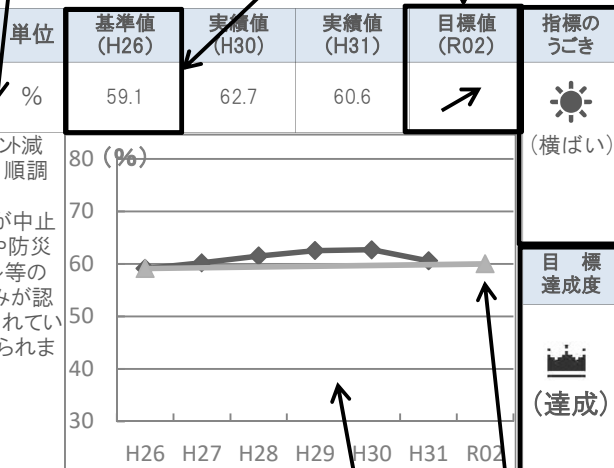
平成26年度としています。

【担当課】令和2年度担当部署です。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災に対する備えが整っていると思う市民割合

① 成果 市民アンケート 上がると良い 交通防災課



(状況) 平成31年度は60.6%で、平成30年度より2.1ポイント減少していますが、後期基準値より1.5ポイント増加しており、順調です。
(原因) 平成31年度は台風の影響により総合防災訓練が中止になりましたが、東日本大震災後の速やかな災害復旧や防災行政無線の整備、総合治水対策の推進、津波避難ビル等の支援協定締結、災害用備蓄品の整備など行政の取組みが認知されていることに加え、地域の自主防災組織が充実されていることにより、市民の安心感向上につながったものと考えられます。

【評価】

「(状況)」は、指標値の増減、指標のうごき、目標達成度に関する評価を記載しています。

「(原因)」は、状況に対する原因分析の内容を記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、令和2年度の目標値を示しており、グラフ上の最も過去の実績値から目標値への方向性をラインで示しています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防災意識の向上

基本事業 02 地域防災力の向上

基本事業 03 建物の耐震化の推進

基本事業 04 浸水対策の推進

基本事業 05 災害支援体制の推進

基本事業 06 津波対策の推進

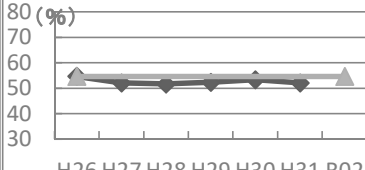
基本事業の成果状況は、はじまりが右側のページとなるよう調整しています。

施策の基本事業の構成を示しています。

施策評価と見方は一緒です。

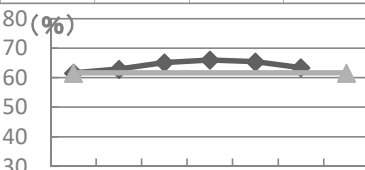
基本事業01 防災意識の向上

災害への備えをしている世帯割合

指標 ①					単位	(H26)	(H30)	(H31)	(R02)	うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	54.7	53.4	52.1	→	
評価	(状況)平成31年度は52.1%で、平成30年度より1.3ポイント、後期基準値より2.6ポイント減少しておりますが、概ね横ばいです。 (原因)年齢が高くなるほど災害から身を守る準備を行っている割合が高く、若い世代で割合が低くなっており、特に20歳代において、他の年齢層に比べ非常用持出袋を用意している割合が低くなっています。平成31年度は総合防災訓練の中止により、啓発する機会が減少したことが要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度
										(高)

基本事業02 地域防災力の向上

災害時に地域で助け合いができると思う市民割合

指標 ①					単位	(H26)	(H30)	(H31)	(R02)	うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	61.6	65.4	63.4	➡	
評価	(状況)平成31年度は63.4%で、平成30年度より2.0ポイント減少していますが、後期基準値より1.8ポイント増加しており、順調です。 (原因)平成31年度は台風の影響により総合防災訓練が中止になりましたが、70歳以上の年代で高い数値となっており、日頃からの交流や震災時に助け合ったり、励ましあったりした実体験などが基準値を維持している大きな要因と考えられます。									(横ばい)
										目標達成度
										 (達成)

【目標値】

目標値は、次の3つのパターンで表わしています。

数値：業務データから現状値を把握するもの

矢印：目標値を数値で表しにくいもの（アンケートによる把握、取得方法変更等）と現状維持のもの

※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表し、数値で目標を設定していません。

※計画期間中にやむを得ず取得方法を変更した指標については、目標値を矢印としています。

－：社会・経済情勢等の影響が大きい社会指標や目標設定がなじまない代替指標としているもの

【指標のうごき】

後期基準値（又は取得初年度）と比較した際の平成31年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。

なお、アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。

☀（向上）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）より向上しているもの

☀（横ばい）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ微向上（横ばい）であるもの

☀（横ばい）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ微低下（横ばい）であるもの

☀（低下）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ低下しているもの

－：平成31年度に実績値がないもの、平成26～30年度の実績値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

【目標達成度】

成果指標の令和2年度の後期目標値への達成度合いを示しています。

👑（達成）：目標値を既に達成しているもの

👑（高）：目標年度で目標値を達成する可能性が高いもの

👑（低）：目標年度で目標値を達成することが難しいもの

－：社会指標等の目標値がないもの、平成31年度に実績値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

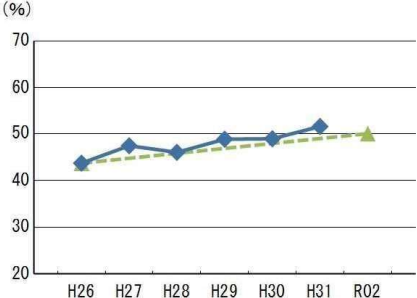
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	48.9	51.5	➔	☀ (向上)
評価	(状況) 平成31年度は51.5%で、平成30年度より2.6ポイント、後期基準値より7.8ポイント増加しており、順調です。 (原因) 学校・家庭・地域が連携して学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業等の協働教育に取り組んでおり、継続的な活動が浸透してきたことが要因と考えられます。									目標 達成度
										■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

基本事業 03 家庭教育力の向上

基本事業 04 青少年の健全育成

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	(向上)
評価	(状況) 平成31年度も10校で、市内小中学校全てにおいて事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校・家庭・地域の連携した様々な取組により、子どもたちの教育環境の充実が図られ、また地域においても子ども達の成長に喜びを感じており、相互間での良好な関係が継続的な事業の実施に繋がっている要因と考えられます。				(校)					目標 達成度 (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	87	86	55	(向上)
評価	(状況) 平成31年度は86件で、平成30年度より1件減少していますが、後期基準値より50件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また、取り組んだ事業を評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有することで新たな取組に繋がっていることが要因と考えられます。				(件/年)					目標 達成度 (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

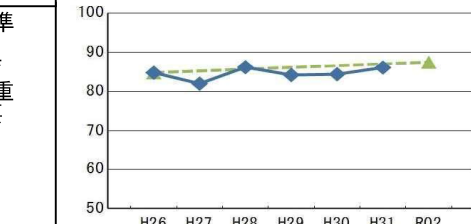
指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	9,386	8,267	7,800	(向上)
評価	(状況) 平成31年度は8,267人で、平成30年度より1,119人減少しましたが、後期基準値より3,742人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校支援地域本部、放課後子ども教室推進事業がともに定着してきたことが、主な要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間、事業を中止したことが主な要因です。				(人/年)					目標 達成度 (達成)

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

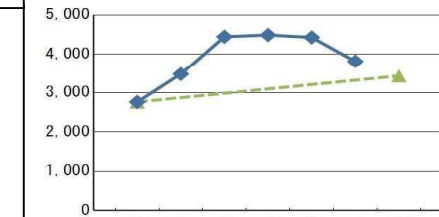
指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	52.4	48.5	➔	(向上)
評価	小学生の子どもを持つ保護者が対象 (状況) 平成31年度は48.5%で、平成30年度より3.9ポイント減少していますが、後期基準値より9.1ポイント増加しており、順調です。 (原因) 地域ボランティアの協力により放課後子ども教室は継続的な取組ができており、子ども達の安全な居場所として広く認知されていることが要因と考えられます。				(%)					目標 達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標 ①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	84.4	86.1	➔	 (横ばい)																	
評価	全国学力・学習状況調査による指標です。				(%)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実践度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>84.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>82.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>86.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>84.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>84.4</td></tr><tr><td>H31</td><td>86.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>86.1</td></tr></tbody></table>						年度	実践度 (%)	H26	84.8	H27	82.5	H28	86.5	H29	84.5	H30	84.4	H31	86.1	R02	86.1	 (横ばい)
	年度	実践度 (%)																									
H26	84.8																										
H27	82.5																										
H28	86.5																										
H29	84.5																										
H30	84.4																										
H31	86.1																										
R02	86.1																										
(状況) 平成31年度は86.1%で、平成30年度より1.7ポイント、後期基準値より1.3ポイント増加しており、順調です。 (原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てや食育に関する講座・研修会を開催することで、家庭における生活環境が重要であると再認識されていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。				目標達成度  (高)																							

基本事業04 青少年の健全育成

青少年育成活動事業の延べ参加者数					単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
指標 ①	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,427	3,813	3,430	 (向上)
										
評価	(状況) 平成31年度は3,813人で、平成29年度より614人減少しましたが、後期基準値より1,050人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度から全小学校で放課後子ども教室を実施していることが、参加者数が大きく増加している要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間、同教室を中止したことが主な要因です。									

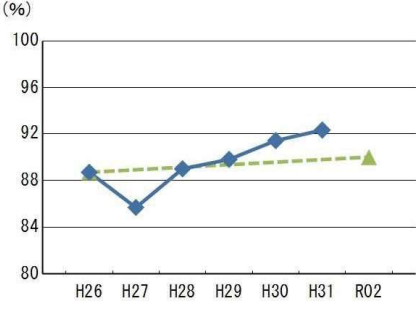
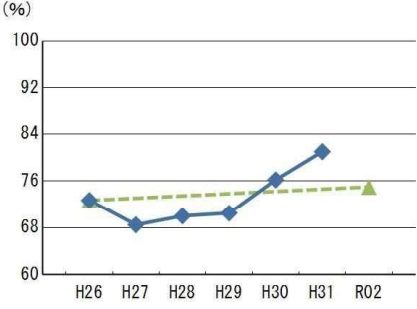
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	88.7	91.4	92.3	➔	☀ (向上)
評価	教育活動状況調査の結果									☀ (向上)
	（状況）平成31年度は92.3%で、平成30年度より0.9ポイント、後期基準値よりも3.6ポイント増加しており、順調です。 （原因）学校に行きたいと思う児童の割合が4年生で下がり、6年生で上がる傾向があります。仲の良い友達がいる割合は2、4、6年生でほぼ98%ですが、勉強が楽しいと思う割合は高学年ほど低下しています。仲の良い友達の存在が、学校が楽しいと思う、大きな要因と考えられます。									目標 達成度 ☀ (達成)
指標	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	72.7	76.2	81	➔	☀ (向上)
評価	教育活動状況調査の結果									☀ (向上)
	（状況）平成31年度は81.0%で、平成30年度より4.8ポイント、後期基準値よりも8.3ポイント増加しており、順調です。 （原因）勉強が楽しいと思う割合は68.7%であるものの、仲の良い友達がいる割合が98.4%と高水準となっており、仲の良い友達の存在が、学校が楽しいと思う、大きな要因と考えられます。									目標 達成度 ☀ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進

基本事業 02 教育の質の向上

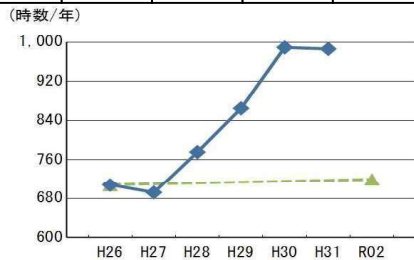
基本事業 03 健康づくりと食育の充実

基本事業 04 教育相談体制の充実

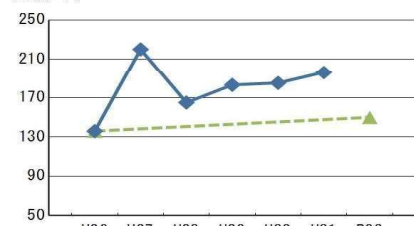
基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備

基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

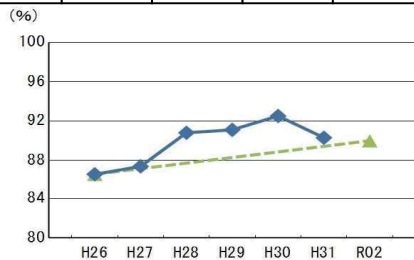
基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	708	989	986	720	
評価					(状況) 平成31年度は986時数/年で、平成30年度よりも3時数/年減少しましたが、後期基準値よりも278時数/年増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域の人材や素材を活用しながら、地域と連携した学習を積極的に取り入れ、推進したことが要因の1つです。					 (向上) 目標達成度 (達成)

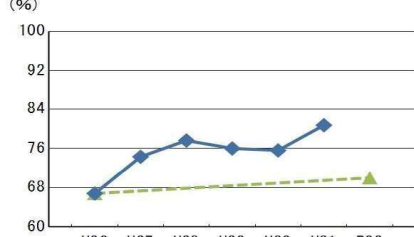
基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	136	185	196	150	
評価					(状況) 平成31年度は196時数/年で、平成30年度より11時数/年増加しており、後期基準値よりも60時数/年増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 職場体験学習など地域に密着した学習を確保したことが要因の1つです。					 (横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	86.6	92.5	90.3	→	
評価	教育活動状況調査の結果				(状況) 平成31年度は90.3%で、平成30年度より2.2ポイント減少しましたが、後期基準値より3.7ポイント増加しており、順調です。 (原因) 2年生92.9%、4年生89.1%、6年生88.6%と、学年が高くなると授業がわかると答えた率が低下する傾向ですが、全学年で高い水準で推移しています。各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送ることができる環境づくりの持続的な取組などが、要因と考えられます。					 (横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	66.8	75.6	80.7	→	
評価	教育活動状況調査の結果				(状況) 平成31年度は80.7%で、平成30年度より5.1ポイント、後期基準値より13.9ポイント増加しており、順調です。 (原因) 各学校の授業内容の充実と共に、規則的な生活や落ち着いた学校生活を送ることのできる環境づくりの持続的な取組などが要因と考えられます。					 (向上) 目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的生活習慣を身につけている児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	86.1	86.9	87.1	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
	(状況) 平成31年度は87.1%で、平成30年度より0.2ポイント、後期基準値より1.0ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 基本的生活習慣を身につけている児童の割合は年々上昇していますが、朝食を食べる割合が少しずつ増加していることが要因です。									目標達成度 ■■■ (高)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	83.4	81.9	81.7	→	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
	(状況) 平成31年度は81.7%で、平成30年度より0.2ポイント、後期基準値より1.7ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 小学生と比べて、中学生は、同じ時間に規則正しく就寝したり起床したりする割合が低くなるのが主な要因です。									目標達成度 ■■ (低)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	17.2	17.2	18.1	18	
評価										(横ばい)
	(状況) 平成31年度は18.1%で、平成30年度及び後期基準値より0.9ポイント増加しています。 (原因) 学校給食実施基準の一部改正(平成30年8月1日施行)に基づき献立を見直す等栄養価の充足率改善に取り組んだ結果、必要な栄養素を確保するため、野菜類を増量しましたが、野菜を多く使用したメニューの残食率が高いことから、野菜類を好まない児童生徒が多いことが要因と考えられます。									目標達成度 ■■■ (高)

基本事業04 教育相談体制の充実

指標④	不登校出現率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	1.81	2.27	2.4	1.3	
評価										(横ばい)
	(状況) 平成31年度は2.4%で、平成30年度より0.13ポイント、後期基準値より0.59ポイント増加しています。 (原因) 各学校におけるきめ細かい対応とスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーとの連携による取り組みにより一定の効果は認められています。しかし、不登校の要因は学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡みあっており、不登校解消への支援に時間を要することが、要因と考えられます。									目標達成度 ■■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

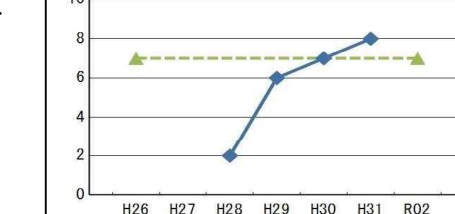
基本事業04 教育相談体制の充実

再登校率					単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																							
指標 ②	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	35	34.5	19.8	40	傘 (低下)																							
					(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>35</td><td>40</td></tr><tr><td>H27</td><td>34.5</td><td>40</td></tr><tr><td>H28</td><td>36</td><td>40</td></tr><tr><td>H29</td><td>35.5</td><td>40</td></tr><tr><td>H30</td><td>34.5</td><td>40</td></tr><tr><td>H31</td><td>19.8</td><td>40</td></tr><tr><td>R02</td><td>40</td><td>40</td></tr></tbody></table>						年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	35	40	H27	34.5	40	H28	36	40	H29	35.5	40	H30	34.5	40	H31	19.8	40	R02	40
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																															
H26	35	40																															
H27	34.5	40																															
H28	36	40																															
H29	35.5	40																															
H30	34.5	40																															
H31	19.8	40																															
R02	40	40																															
評価	(状況) 平成31年度は19.8%で、平成30年度より14.7ポイント、後期基準値より15.2ポイント減少しております。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携による取り組みなどを積極的に行っていますが、不登校者が増加していることや、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合い、支援に時間を要していることが要因の1つと考えられます。																																

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標 ①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	 (横ばい)															
評価	(状況) 平成31年度も0件です。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行った結果と考えられます。				(件/年)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0</td></tr><tr><td>H27</td><td>0</td></tr><tr><td>H28</td><td>0</td></tr><tr><td>H29</td><td>0</td></tr><tr><td>H30</td><td>0</td></tr><tr><td>H31</td><td>0</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td></tr></tbody></table>				年度		件数	H26	0	H27	0	H28	0	H29	0	H30	0	H31	0	R02	0
									年度	件数															
H26	0																								
H27	0																								
H28	0																								
H29	0																								
H30	0																								
H31	0																								
R02	0																								

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

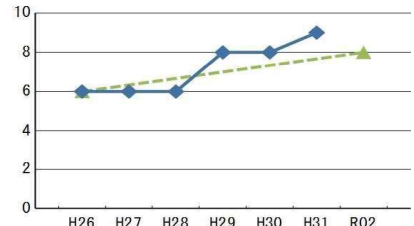
指標②	学校施設の改修棟数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	棟	7	7	8	7	 (向上)
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				 (棟)					
	(状況) 平成31年度は、東豊中学校のエレベータ1棟の改修を実施し、累計8棟の改修が終了しています。 (原因) 教育環境の充実のため、必要となる改修を計画的に実施していることが要因です。									

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																							
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	人/年	45	10	7	0	☀ (横ばい)																							
評価	(状況) 平成31年度は7人で、平成30年度より3人、後期基準値より38人減少しています。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により情報共有等素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動が学校独自の取組や地域住民の協力による安全安心な環境づくりが行われていることが数値を低い水準に抑えられている要因の1つと考えられます。				(人/年) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>45</td><td>45</td></tr><tr><td>H27</td><td>14</td><td>40</td></tr><tr><td>H28</td><td>15</td><td>35</td></tr><tr><td>H29</td><td>8</td><td>30</td></tr><tr><td>H30</td><td>10</td><td>25</td></tr><tr><td>H31</td><td>7</td><td>20</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td><td>15</td></tr></tbody></table> ■ (高)					年度	実績値	目標値	H26	45	45	H27	14	40	H28	15	35	H29	8	30	H30	10	25	H31	7	20	R02	0	15
					年度	実績値	目標値																										
H26	45	45																															
H27	14	40																															
H28	15	35																															
H29	8	30																															
H30	10	25																															
H31	7	20																															
R02	0	15																															

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

指標①	新たな時代への教育取組推進数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	教育総務課	件	6	8	9	8	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(件) 					目標 達成度
	(状況) 平成31年度は9件で、平成30年度より1件、後期基準値より3件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成31年度は、学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進事業、小学校理科支援事業、学習個別支援事業及び特別支援教育支援事業、心のケアハウス運営事業、志教育支援事業等の取組を実施していることが要因です。									

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習を行っている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	66	65.2	➔	☀ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度
	（状況）平成31年度は65.2%で、平成30年度より0.8ポイント減少し、平成27年度の64.5%より0.7ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 （原因）健康・スポーツや芸術（音楽や美術など）の活動をしている人の割合がそれぞれ30%を超えていることが高水準の維持に繋がっている要因と考えられます。									☀ (横ばい)
										■ (高)

指標	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	28.5	30.9	➔	☀ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度
	（状況）平成31年度は30.9%で、平成30年度より2.4ポイント、平成27年度の30.2%より0.7ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 （原因）年齢を問わず、生涯学習で身に付けた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないことなどが要因と考えられます。									☀ (横ばい)
										■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実

基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進

基本事業 03 芸術文化の振興

基本事業 04 生涯学習施設の運営

基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	講座/年	77	293	307	90
評価				(講座/年)					☀ (向上)
	(状況) 平成31年度は307講座で、平成30年度より14講座、後期基準値より229講座増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館において、多くの講座等を開催していることが大きな要因です。								目標 達成度 🏠 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	7,254	16,099	20,051	7,600
評価	年間延べ人数です。			(人/年)					☀ (向上)
	(状況) 平成31年度は20,051人で、平成30年度より3,952人、後期基準値より12,797人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館での講座等の開催数の増加に伴い、参加者が大きく増加しています。市民ニーズに合致している講座等を開催したことが要因と考えられます。								目標 達成度 🏠 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	48.1	45.8	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。			(%)					☀ (横ばい)
	(状況) 平成31年度は45.8%で、平成30年度より2.3ポイント減少していますが、平成27年度の43.7%より2.1ポイント増加しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 講座・教室数が増えていることのほか、パソコンやスマートフォンの普及により学習手段の拡充が図られていることが要因の1つと考えられます。								目標 達成度 🏠 (高)

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	団体	184	211	205	200
評価				(団体)					☀ (向上)
	(状況) 平成31年度は205団体で、平成30年度より6団体減少していますが、後期基準値より21団体増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 後期基準値である平成26年度のみ190団体を割り込みましたが、平成27年度以降は200団体強で推移しています。高齢化等に伴う解散や合併がある一方、毎年、5～15団体ほどの新規登録があることが要因と考えられます。								目標 達成度 🏠 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,679	5,390	3,900	
評価	（状況）平成31年度は5,390人で、平成30年度より289人減少していますが、後期基準値より1,786人増加しており、後期目標値を達成しています。 （原因）平成27年度以降、サークル登録団体数が200団体強で推移していることが要因と考えられます。				（人）					☀ (向上) 目 標 達成度 ■ (達成)

基本事業03 芸術文化の振興

指標①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	132,834	107,531	85,000	
評価	（状況）平成31年度は107,531人で、平成30年度より25,303人減少しましたが、後期基準値より30,719人増加しており、後期目標値を達成しています。 （原因）演奏会や演劇の鑑賞者数が増加していることが要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、イベントの中止や約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。				（人/年）					☀ (向上) 目 標 達成度 ■ (達成)

基本事業03 芸術文化の振興

指標②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	61.1	54.2	➡	
評価	平成27年度から取得を開始した指標です。 （状況）平成31年度は54.2%で、平成30年度より6.9ポイント、平成27年度の55.6%より1.4ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、初年度である平成27年度との比較においては、統計誤差の範囲です。 （原因）平成30年度は東北歴史博物館において「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」が開催されたこともあって60%を超えており、他の年度においても55%前後を推移している状態にあります。芸術文化に関する施設やイベントが多数あり、芸術文化に触れる機会が多いことが要因と考えられます。				（%）					☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■ (低)

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	344,113	298,583	355,000	
評価	（状況）平成31年度は298,583人で、平成30年度より45,530人減少していますが、後期基準値より38,116人増加しています。 （原因）市民会館における芸術文化の鑑賞者数が大きく増加していることが大きな要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、イベントの中止や約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。				（人/年）					☀ (向上) 目 標 達成度 ■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標 ②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	1	0	
評価	(状況) 平成31年度は1件で、平成30年度及び後期基準値より1件増加しています。 (原因) 令和元年台風第19号の影響で10月12日及び13日に発生した豪雨により市立図書館のキッズスペースに浸水被害が発生し、同スペースを閉鎖したことが要因です。				(件/年)					(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ①	市立図書館の市民利用率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	16.5	14.5	50	
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値 (状況) 平成31年度は14.5%で、平成30年度より2.0ポイント減少しましたが、後期基準値より4.5ポイント増加しています。 (原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。なお、平成30年度より減少したことについては、令和元年台風第19号によるキッズスペースの閉鎖や新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間の臨時休館があったことが主な要因と考えられます。				(%)					(横ばい)
										目標達成度 ■■ (低)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ②	市立図書館の登録者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	78,929	84,785	40,000	
評価	(状況) 平成31年度は84,785人で、平成30年度より5,856人、後期基準値より59,950人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館は、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大により、市内外を問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。平成31年度については、児童・生徒・一般・団体等の中で、一般層が平成30年度より5,351人増加しています。				(人)					(向上)
										目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ③	市立図書館の利用者満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	—	80.3	76.5	→	
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月) (状況) 平成31年度は76.5%で、平成30年度より3.8ポイント、平成28年度の80.6%より4.1ポイント減少していますが、利用者アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 令和元年9月に実施した利用者アンケートにおいて、「大いに満足」及び「満足」の合計は76.5%であり、高い満足度を保っています。働く世代の利用率が高く、「駅前にある」「365日開館している」「開館時間が長い」が魅力として挙げられており、これらが高い満足度が保たれている要因と考えられます。				(%)					(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

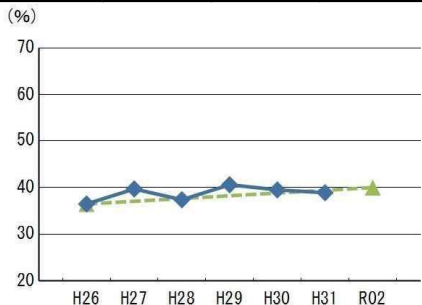
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	39.5	38.9	➔	☀ (横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は38.9%で、平成30年度より0.6%ポイント減少し、後期基準値より2.4%ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) スポーツ施設の適正な管理運営及び年間通じてのスポーツ大会や教室の開催といった安定した環境と機会を提供できていることが要因と考えられます。					 (%) H26 H27 H28 H29 H30 H31 R02				目標 達成度
										■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	回/年	87	159	169	95
評価	(状況) 平成31年度は169回で、平成30年度より10回、後期基準値より82回増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、年間を通じて様々な教室や大会を開催しており、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業が平成30年度より増加していることが要因です。			(回/年)					☀ (向上)
									目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	14.4	18.2	➡
評価	(状況) 平成31年度は18.2%で、平成30年度より3.8ポイント、平成27年度の16.4%より1.8ポイント増加しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 平成30年度と比較してスポーツ教室・大会件数は増加しており、市民のスポーツをする機会が増えたことが要因と考えられます。			(%)					☀ (横ばい)
									目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標③	スポーツ普及団体の登録会員数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,898	3,556	3,499	4,900
評価	(状況) 平成31年度は3,499人で、平成30年度より57人、後期基準値より399人減少しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあり、地域のスポーツ団体に所属せずにスポーツをする人が増えていることが要因と考えられます。			(人)					☂ (低下)
									目 標 達成度 ■■ (低)

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	322,238	338,956	296,806	350,000
評価	(状況) 平成31年度は296,806人で、平成30年度より42,150人、後期基準値より25,432人減少しています。 (原因) 平成28年度をピークに減少傾向にありますが、大きなスポーツイベント等の実施の有無のほか、屋外スポーツ施設等の利用者数の減少が主な要因です。なお、平成30年度より大幅に減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、各施設等に約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。			(人/年)					☂ (低下)
									目 標 達成度 ■■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標 ②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成31年度は0件で、後期目標を達成しています。 (原因) 施設の老朽化や設備の経年劣化による設備修繕は生じていますが、施設等の管理・運営に支障が生じないよう迅速に対応していることが要因と考えられます。				(件/年) 					(横ばい)
										目標 達成度 (達成)

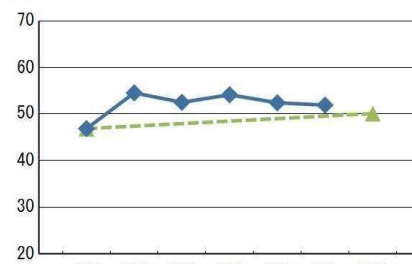
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																								
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	52.3	51.8	➔	 (横ばい)																								
評価	(状況) 平成31年度は51.8%で、平成30年度より0.5ポイント減少していますが、後期基準値より5.0ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベントが行われたこと、平成31年度に南門復元事業に本格着手し、広報誌等で事業を周知したこと等が要因と考えられます。					(%)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>46.8</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H27</td><td>52.3</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>51.8</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>52.3</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>52.3</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>51.8</td><td>48.0</td></tr><tr><td>R02</td><td>51.8</td><td>48.0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	46.8	48.0	H27	52.3	48.0	H28	51.8	48.0	H29	52.3	48.0	H30	52.3	48.0	H31	51.8	48.0	R02	51.8	48.0	目標達成度  (達成)
						年度	実績値 (%)	目標値 (%)																										
H26	46.8	48.0																																
H27	52.3	48.0																																
H28	51.8	48.0																																
H29	52.3	48.0																																
H30	52.3	48.0																																
H31	51.8	48.0																																
R02	51.8	48.0																																

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進

基本事業 02 文化財の積極的な活用促進

基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標	文化財保護法により適正に保護された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	208	188	—	
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数				(件/年)					目標達成度
	(状況) 平成31年度は188件で、平成30年度より20件減少していますが、後期基準値より13件増加しています。 (原因) 住宅建築や宅地造成などの需要に伴い増減します。平成27年度以降、周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数について、後期基準値と比較すると高い水準で推移しており、住宅需要を反映していることが要因と考えられます。									—

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標	特別史跡の公有化率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	58.9	59.6	60	
評価	(状況) 平成31年度は59.6%で、平成30年度より0.7%ポイント、後期基準値より2.9%ポイント増加していますが、横ばいです。 (原因) 特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。				(%)					目標達成度
										(横ばい) 目標達成 (高)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

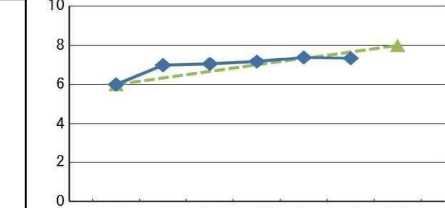
指標	活用されている文化財の面積				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	287,842	307,308	307,308	303,000	
評価	(状況) 平成31年度は307,308m²で、平成30年度と同値で、後期基準値より19,466m²増加と順調であり、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度からの中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。				(m ²)					目標達成度
										(向上) 目標達成 (達成)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

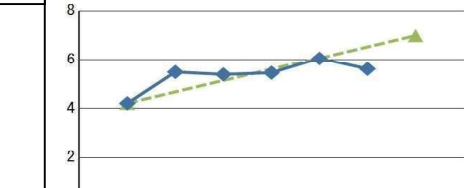
指標	市内所在の文化財訪問者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	147,652	135,009	140,000	
評価	(状況) 平成31年度は135,009人で、平成30年度より12,643人減少していますが、後期基準値よりは2,978人増加しています。 (原因) 多賀城跡あやめまつりの入込数が、長雨による天候不順により減少したことが要因と考えられます。				(人/年)					目標達成度
										(横ばい) 目標達成 (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

市内所在文化財の平均認知項目数					単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
指標 ①	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.38	7.34	➔	 (横ばい)	
						(項目)					
評価	(状況) 平成31年度は7.34項目で、平成30年度より0.04項目減少していますが、後期基準値より1.34項目増加しており、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。 一方で、多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の認知度がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。										 目標達成度  (高)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標②	市内所在文化財の平均訪問項目数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																																
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	6.05	5.61	➔	 (横ばい)																																
評価	(状況) 平成31年度は5.61項目で、平成30年度より0.44項目減少したものの、後期基準値より1.41項目増加しており、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベント会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の訪問者数がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。				(項目)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>4.2</td><td></td><td>4.2</td></tr><tr><td>H27</td><td></td><td>5.6</td><td>4.8</td></tr><tr><td>H28</td><td></td><td>5.5</td><td>5.2</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>5.5</td><td>5.8</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>6.05</td><td>6.2</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>5.61</td><td>6.5</td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td></td><td>7.0</td></tr></tbody></table>						年度	基準値	実績値	目標値	H26	4.2		4.2	H27		5.6	4.8	H28		5.5	5.2	H29		5.5	5.8	H30		6.05	6.2	H31		5.61	6.5	R02			7.0
					年度	基準値	実績値	目標値																																		
H26	4.2		4.2																																							
H27		5.6	4.8																																							
H28		5.5	5.2																																							
H29		5.5	5.8																																							
H30		6.05	6.2																																							
H31		5.61	6.5																																							
R02			7.0																																							

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

市内文化財への情報アクセス数					単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき																						
指標 ③	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	189,087	295,845	120,000	☀ (向上) 目 標 達成度 (達成)																						
	(状況) 平成31年度は295,845件で、平成30年度より106,758件、後期基準値より179,845件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市ホームページでの文化財情報のアクセス数が順調に増加していることに加えて、観光協会ホームページでの文化財情報のアクセス数が大幅に増加したことなどが要因です。					(件/年)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>116,000</td><td>116,000</td></tr><tr><td>H27</td><td>116,000</td><td>116,000</td></tr><tr><td>H28</td><td>145,000</td><td>116,000</td></tr><tr><td>H29</td><td>189,087</td><td>116,000</td></tr><tr><td>H30</td><td>189,087</td><td>116,000</td></tr><tr><td>H31</td><td>295,845</td><td>116,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td><td>120,000</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	116,000	116,000	H27	116,000	116,000	H28	145,000	116,000	H29	189,087	116,000	H30	189,087	116,000	H31	295,845	116,000	R02
年度	実績値	目標値																														
H26	116,000	116,000																														
H27	116,000	116,000																														
H28	145,000	116,000																														
H29	189,087	116,000																														
H30	189,087	116,000																														
H31	295,845	116,000																														
R02	-	120,000																														
評価																																